

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.10 August 2008

第2回海外研究会特集号 8月18日(月)～22日(金)

タイ・日本国際シンポジウム「物質工学と環境工学の新しい展開」を開催
—国際的産学連携活動の支援、泰国千里会との交流を深める—

前号にて「第2回海外研究会が無事終了；速報」でお知らせしました、=チュラロンコン大学石油・石油化学研究科と関西大学工学研究科との合同シンポジウム参加=の特集号です。

◇チュラロンコン大学との交流◇

本学における研究活動を産業界に紹介し、新産業創出など科学技術の発展に寄与すること、並びに大学と会員企業の発展向上を目的として活動している関西大学科学技術振興会(寺内俊太郎会長・昭41学工金、昭43院修金、昭46院博金)は、8/19(火)・20(水)タイ王国チュラロンコン大学で開催された、標記シンポジウム(本学実行委員長；田村 裕化学生命工学部教授)を後援し、会員企業等18名と企業紹介のパネル展示に10社が参加しました。

同シンポジウムは、チュラロンコン大学石油・石油化学工学研究科創立20周年と、本学工学部創立50周年を記念して開催、本学から化学生命工学部等教員10名、工学研究科大学院生15名が参加され、双方の大学から研究成果の発表と熱心な議論があり、活発な交流が行われました。

セレモニーでは、チュラロンコン大学学長から、両大学の創立記念を祝しての盾が工学部と振興会に贈呈されました。

同大学とは、一昨年に両大学のシンポジウムに同会が後援して訪問したことに始まり、昨年は本学に招待してマレーシアを加えての理工学国際シンポジウムを開催して密接な連携関係を築いてきました。この度は本学から大学院生が若手研究者として初めて参加・発表し、更に交流を深め、国際的な人材育成への一助となるものと思われま



シンポジウム会場での科学技術振興会の皆さん 08.8.19

し、更に交流を深め、国際的な人材育成への一助となるものと思われま

このように、東アジアの活動拠点の形成に着実に前進したことを実感しました。



シンポジウム開催前に懇談

左から、Nantaya Yanumet チュラロンコン大学石油化学研究科長、寺内俊太郎振興会会長、戸倉清一先端科学技術推進機構特別顧問、土戸哲明関西大学工学研究科長、Pirom Kamolratanakul チュラロンコン大学学長 08.8.19



シンポジウム会場—主催者の挨拶—08.8.19

◇現地企業訪問、泰国千里会と交流◇

地元進出企業で活躍の校友の会・泰国千里会（中村良三会長・昭40学工機）のお世話により、トヨタ自動車(株)の海外生産拠点の中でも重要な位置を占める、Toyota Motor Thailand (Gateway Plant)を含め、3社を訪問。同社には、チュラロンコン大学の教員・大学院生も参加され、総勢約80名が「愚直に、素直に、誠実に」と日本語、タイ語、英語でのスローガンが張られた組み立てラインを見学しました。

見学後、バンコク市内のレストランで泰国千里会から会長始め12名の参加を得て、チュラロンコン大学、タイ国立金属材料研究所、並びに本学から土戸哲明大学院工学研究科長始め教員、学生等、総勢約60名で交流会を開催しました。



Toyota Motor Thailand (Gateway Plant)
見学後の説明—生産ラインは撮影禁止—08.8.20



泰国千里会との交流—中村会長のご挨拶—08.8.20

おける関大校友の活躍が今後益々期待されます。

◇学校法人から感謝状◇

この度、森本靖一郎学校法人理事長から、振興会による本学の国際的産学連携活動の支援に対して感謝状を拝受致しましたので、ご報告致します。

全員での学歌斉唱で始まり、中村・寺内両会長挨拶の後、泰国千里会、本学からの参加者、チュラロンコン大学、タイ国立金属材料研究所、振興会の各参加者から自己紹介や、本学大学院生代表からシンポジウムに参加しての感想等がありました。最後に、輪になって肩を組み道謡歌を歌って、交流は熱い場となりました。

異国の地で仕事・生活をされている泰国千里会の方々の、母校関西大学を思われる強いお気持ちがあひひしと伝わって参り、工場見学の受け入れ準備やシンポジウム会場の大学から移動用バスのご配慮等を戴き、多大なご尽力に感謝を申し上げます。同会は、近々に校友会支部としての活動を開始されると伺い、ASEAN 諸国に

◇振興会寄贈のタペストリー設置◇

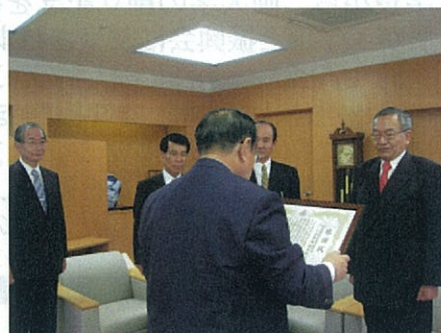


高松塚古墳壁画タペストリー
制作：堺美術織物株
—100周年記念会館設置—

6月12日に学校法人に高松塚古墳壁画の西壁女子群像をモチーフにしたタペストリー

を寄贈させて戴きました。これは、本年の工学部創立50周年記念として制作したもので、理事長室において、森本靖一郎理事長、河田悌一学長、上原洋允学専務理事、池内啓三常務理事のご臨席を賜り、寺内会長からご寄贈申し上げます。

その後、第1回研究会（H20.6.28）で会員に初披露となりましたが、10月1日、100周年記念会館に設置されました。



森本理事長から感謝状の贈呈
左から、内山機構長、紀和副会長、隅谷副会長、寺内会長

本学に高松塚古墳壁画を偲ぶ新たな登場により、多くの方にご覧戴くことを願っております。

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University